

貯 法	室温保存
-----	------

承認指令書番号	農林水産省指令 14 生畜第 5925 号
販売開始	2003 年 1 月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

セファロスポリン系乳房注入剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

セファゾリン3L「フジタ」

CEFAZOLIN 3L「FUJITA」

セファゾリンは、*Cephalosporium acremonium* から産生される Cephalosporin-C を基に合成されたセファロスポリン系抗生物質です。特長は、グラム陽性菌からグラム陰性菌まで幅広い抗菌スペクトルを有し、特に大腸菌やクレブシエラ属に強い抗菌作用を示します。ペニシリナーゼに対して耐性を持つため、ペニシリン耐性菌に対しても有効です。作用機序は、細胞壁の合成阻害で、殺菌的に作用します。

本剤は、セファゾリンを 450 mg(力価)含有するシリンジタイプの乳房注入剤ですので、ワンショットで効果が高く、通常の泌乳期用乳房注入剤を 3 日間投与する手間も省け、乳牛にも負担をかけません。また、治療開始からの牛乳廃棄期間を短縮することができます。

【成分及び分量】

本剤 1 容器中(3 g)	
セファゾリン.....	450 mg (力価)
青色 1 号 .....	25 mg

【効能又は効果】

有効菌種  
ブドウ球菌、レンサ球菌、大腸菌、クレブシエラ  
適応症  
牛：泌乳期の乳房炎

【用法及び用量】

牛：1 日 1 回 1 分房当たり、1 容器を注入する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

- 守らなければならないこと  
(一般的注意)
  - 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
  - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
  - 本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、過剰にわたる連続投与は行わないこと。
  - 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 83 条の 4 の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛：食用に供するためにと殺する前 3 日間又は食用に供するために搾乳する前 72 時間

(使用者に対する注意)

- まれに発赤、皮膚炎等の刺激症状が現れることがある。作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。

- ・容器先端のノズルは清潔に取り扱うこと。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗淨やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- ・本剤は衣服や手指等に付着しないように注意すること。また、手指等に付着した場合は直ちに拭き取るか水で洗い流すこと。
- ・本剤に含まれる青色 1 号により、衣服、手指等が青く染まったりシミになることがあるので取扱いには注意すること。

(牛に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

- ・本剤を注入する時は乳頭を十分に消毒すること。
- ・本剤注入後、乳頭部から乳房に向かって、薬が良く深部に行き渡るように軽くマッサージすること。

## (専門的事項)

### ① 対象動物の使用制限等

- ・本剤は過敏症反応をまれに起こすことがあるので、投与前に使用経歴や反応の有無を調べ、陽性動物には投与を避けること。なお、本剤投与後、ショック症状や過敏症反応が現れた場合には、投与を中止するなどして慎重に観察し、その後の投与の可否について検討すること。

## 【有効期間】

36 カ月

## 【包 装】

3 g (シリンジ型プラスチック容器) × 10 本

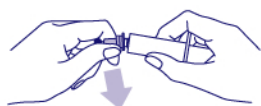
## ＜シリンジキャップの扱い方＞

シリンジ挿入部は、2 通りの選択使用が可能です。

- ① 長いノズルを使用し、乳頭管内に挿入する。
- ② ノズルを短くして、ごく浅く挿入する。

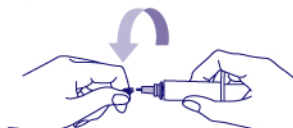
①では乳頭の内部を損傷したり、細菌を乳腺内に挿入させる可能性が高いといわれているので、②の方法をお薦めいたします。

①



長いノズルでご使用の場合は  
キャップ全体を押し上げて  
はずします。

②



短いノズルでご使用の場合は  
先端部をねじ切ります。

## 【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市栢田町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要であると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



**フジタ製薬株式会社**

東京都品川区上大崎2丁目13番2号  
<http://www.fujita-pharm.co.jp>

**FUJITA PHARM**